

なくそう！石油ストーブ火災

寒い時期に重宝される石油ストーブ。エアコンの普及等により利用者は減ったものの、いまだにガソリンスタンドの灯油コーナーでは列になっているのをよく見かけます。暖房器具として昔からおなじみのツールではありますが、石油ストーブが原因で起きる火事はあとを絶ちません。注意事項を確認して、安全に使いましょう。

事例①

給油の際に石油ストーブを消火せず、また、給油タンクの蓋が確実に閉まっていなかったため、灯油がこぼれて引火した。

消火しないまま、給油タンクを交換したり、灯油を継ぎ足す行為は大変危険です。必ず消火してから行いましょう。



事例②

石油ストーブの上部に干していた洗濯物がストーブの上に落下して引火した。

機器の上部や周囲には可燃物を置かないようにしましょう。特に洗濯物は湿った状態から乾く過程で重量が変化して、ゆらゆらと動き落下してしまう危険があります。



事例③

石油ストーブに灯油と間違えてガソリンを給油したため、異常燃焼を起こした。

石油ストーブにガソリンは絶対に使用しないでください。ガソリンは引火点が低く、とても燃えやすい物質です。そもそも灯油以外のものを給油することは厳禁です。



※引用元：nite（独立行政法人製品評価技術基盤機構）